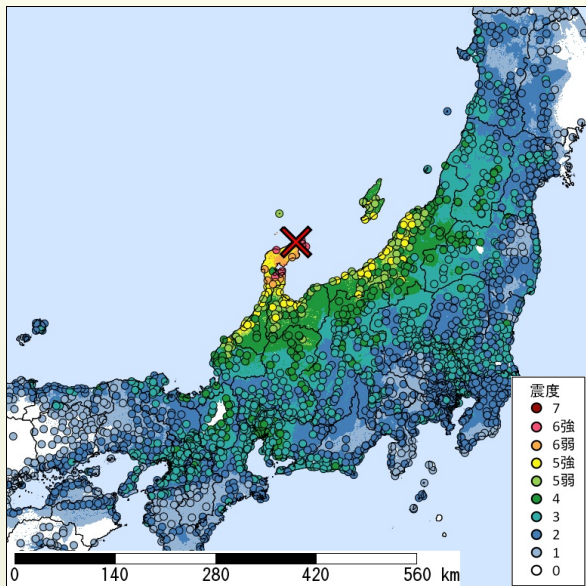


M 7.6, 震源地:石川県能登地方, 深さごく浅い, 2024/01/01 16:10頃発生 (気象庁発表)

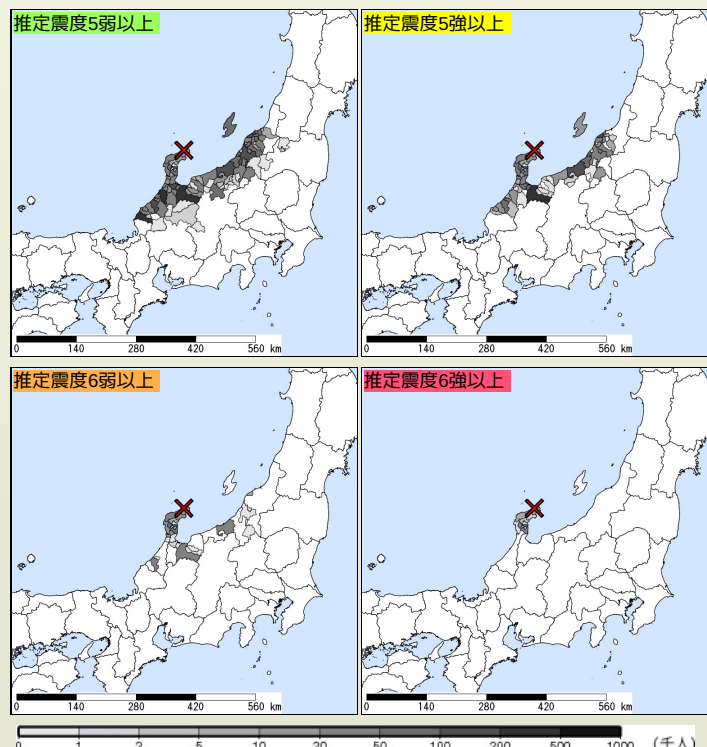
震度の分布 最大観測震度6強(*) 主要都市の推定震度 (都市の最大観測震度と人口を考慮して掲載)



最大(*) 観測震度	推定震度頻度分布 1 2 3 4 5-5+ 6-6+ 7	市区町村名	全人口: 昼間 (人)	震央距離 (km)
6強	[Bar chart]	石川県珠洲市	15,000	8
6強	[Bar chart]	石川県七尾市	58,000	54
6強	[Bar chart]	石川県輪島市	27,000	29
6弱	[Bar chart]	石川県羽咋郡志賀町	20,000	66
6弱	[Bar chart]	新潟県長岡市	280,000	145
5強	[Bar chart]	新潟県上越市	200,000	99
5強	[Bar chart]	新潟県新潟市西区	140,000	161
5強	[Bar chart]	石川県小松市	110,000	138
5強	[Bar chart]	富山県富山市	450,000	89
5強	[Bar chart]	新潟県三条市	100,000	156
5強	[Bar chart]	新潟県新潟市中央区	260,000	168
5強	[Bar chart]	富山県高岡市	170,000	84
5強	[Bar chart]	石川県金沢市	500,000	115
5弱	[Bar chart]	福井県福井市	290,000	181
5弱	[Bar chart]	長野県長野市	390,000	129
3	[Bar chart]	大阪府大阪市北区	510,000	345
3	[Bar chart]	大阪府大阪市中央区	530,000	348
3	[Bar chart]	栃木県宇都宮市	510,000	260
3	[Bar chart]	東京都江東区	560,000	309
3	[Bar chart]	東京都大田区	650,000	311

最大観測震度は、各市区町村内で観測された最大震度。観測された計測震度を250mメッシュで補間し、市区町村ごとに推定震度頻度分布を作成した。報開始時刻が9:00-18:59のとき昼間人口、19:00-8:59のとき夜間人口を示し、平成27年国勢調査、平成26年経済センサス-基礎調査等のリンクによる地域メッシュ統計を二桁精度による四捨五入した。震央距離は震央から各市区町村中心部までの距離。

行政区ごとの震度遭遇人口 (各震度階級の揺れに遭遇した人口を考慮して掲載)



補間した250mメッシュの推定震度分布と、250mメッシュに細分化した平成27年国勢調査、平成26年経済センサス-基礎調査等のリンクによる地域メッシュ統計を重ね合わせ、各行政区の震度遭遇人口を推計した。

行政区名	震度5弱以上 遭遇人口	震度5強以上 遭遇人口	震度6弱以上 遭遇人口	震度6強以上 遭遇人口
全国	5,000,000	1,000,000	200,000	50,000
新潟県	2,000,000	500,000	50,000	
新潟県新潟市中央区	100,000	20,000		
新潟県新潟市西区	200,000	100,000	10,000	
新潟県長岡市	100,000	20,000	1,000未満	
新潟県三条市	100,000	50,000		
新潟県柏崎市	100,000	50,000		
新潟県上越市	200,000	100,000	20,000	
富山県	1,000,000	500,000	20,000	
富山県富山市	500,000	200,000	20,000	
富山県高岡市	200,000	50,000	2,000	
富山県射水市	100,000	50,000	1,000未満	
石川県	1,000,000	500,000	200,000	50,000
石川県金沢市	200,000	20,000		
石川県七尾市	50,000	50,000	50,000	20,000
石川県小松市	100,000	100,000	50,000	
石川県輪島市	20,000	20,000	20,000	10,000
石川県珠洲市	20,000	20,000	20,000	10,000
石川県羽咋市	20,000	20,000	20,000	
石川県羽咋郡志賀町	20,000	20,000	10,000	1,000未満
石川県鹿島郡中能登町	20,000	20,000	10,000	
石川県鳳珠郡穴水町	10,000	10,000	10,000	5,000
石川県鳳珠郡能登町	20,000	20,000	10,000	1,000
福井県	200,000	10,000		

全国および震度遭遇人口の多い都道府県と市区町村について掲載。震度遭遇人口が1~999人の場合は1000未満と表示。全国、都道府県の値は、市区町村の値の合計と必ずしも一致しない。

この地域で起こった過去の主な被害地震

発生日	地震名	M	被害
1751	越後・越中	7.0 ~7.4	高田城で所々破損、町方3ヶ所から出火した。針崎・糸魚川間の谷で山崩れ多く、圧死多数。富山・金沢でも強く感じ、日光で有感、全体で、死1500以上。余震が多かった。
1799	加賀	6.0	上下動が激しく、屋根石が1尺も飛び上がったという。金沢城で石垣破損、城下で潰家4169。能美・石川・河北郡で潰家1003、潰家964。全体で死21。
1847	越後頸城郡	6.5	善光寺地震の被害と区別できないところが多い。潰家・大破ならびに死傷があった。地割れを生じ、泥を噴出し、田畑が埋没したところもあった。
1858	飛騨・越中・加賀・越前(飛越地震)	7.0 ~7.1	飛騨北部・越中で被害が大きく、飛騨で潰家319、死203。山崩れも多く、常願寺川の上流が堰止められ、後に決壊して流出および潰家1600余、溺死140の被害を出した。跡津川断層の運動(右横ずれ)によると考えられる。
1858	信濃北西部	5.7	大町町で家・蔵が潰れ、山崩れがあった。この地震が引金で、2月26日の地震で堰止められたところが崩れたと考えられる。
1892	能登半島西岸	6.4	家屋・土蔵の破損があった。11日にも同程度の地震があり、羽咋郡で全潰2、死1。
1896	石川県北岸	5.7	蛸島村で土蔵倒壊2、家屋破壊15。禰剛崎燈台破損。
1933	能登半島沖	6.0	石川県能登郡で死3、家屋倒壊2、破壊143、ほかの被害があった。富山県でも傷2。
2007	能登半島沖(能登半島地震)	6.9	海陸境界域の横ずれ成分を含む逆断層型地殻内地震。死1、傷356、住家全壊686、半壊1740(2009年1月現在)。最大震度6強(石川県3市町)、珠洲と金沢で0.2mの津波。
2014	長野県北部	6.7	逆断層型地殻内地震(深さ5km)。糸魚川-静岡構造線断層帯の北部部分で発生したと考えられる。住家全壊77、半壊137(2015年1月5日現在)。最大震度6弱(長野県長野市・小谷村・小川村)。

出典：国立天文台編「理科年表 平成29年」、丸善出版(2016)、一部表現を割愛

J-SHISから公表している地震ハザード情報

防災科研が公開するJ-SHISでは、ある地点に対し影響を及ぼす全ての地震を考慮し、その地点が大きな地震動に見舞われる危険度、すなわち地震ハザードを評価しています。(2022年地震ハザード評価)

50年間超過確率2%の計測震度分布 再現期間50000年相当の計測震度分布

